

山中裕先生著書・論文目録(一)

小口雅史編

○昭和二十六年

六月 白馬の節会 日本歴史三七

九月 源氏物語の成立年代に関する一考察―特にその行事を中心にして

て 国語と国文学二八―九 改 歴

○昭和二十七年

二月 紫式部の女子大式三位及び弁の乳母 日本歴史四五 史

五月 栄花物語の歴史性と文学性 日本歴史四八 改 歴

十二月 歴史書としてみた栄花物語―特に初花の巻を中心にして

日本歴史五五 改 歴

○昭和二十八年

五月 光源氏と藤原道長―モデル・準拠論 日本歴史六〇 歴

七月 栄花物語に於ける源氏物語の影響 国語と国文学三〇―七 歴

九月 栄華物語について 日本史の研究三

十二月 藤原道長と紫式部 日本のあゆみの研究三

○昭和二十九年

一月 漢文記録としての日記 国文学解釈と鑑賞一九―一

「十節記」考 日本歴史六八

六月 宇治の歴史 紫花余香九

？ 関白道長の豪胆さ 日本史の研究五(奥付無)

○昭和三十年

三月 源氏物語の成立順序 国語と国文学三二―三 歴

四月 平安京、宇治と初瀬 国文学解釈と鑑賞二〇―四

七月 平安朝文学の背景としての年中行事 国文学解釈と鑑賞二〇―七

七

八月 野上彌生子著「山荘記」を読む 史料職組ニュース三二

○昭和三十一年

一月 大饗と臨時客 日本歴史九一

二月 栄花物語の作者―赤染衛門説再検討 国語と国文学三三―二 歴

金沢文庫本栄花物語断簡について 彙報金沢文庫一〇 史

三月 平安時代の公卿の記録 日本史の研究一二

四月 伝記的研究 国文学解釈と鑑賞二一―四

八月 能見堂考 彙報金沢文庫一六

○昭和三十二年

一月 栄花物語に現れた藤原道長 歴史地理八七―一・二 歴

三月 九歴及び九条年中行事について 国史学六八

『平安王朝』論集日本歴史3、改 固

四月 平田俊春氏「扶桑略記の研究」 日本上古史研究一―四

年中行事(その一)―四月灌仏会 彙報金沢文庫二三

五月 年中行事(その二)―端午の節句 彙報金沢文庫二四

六月 年中行事(その三)―七夕 彙報金沢文庫二五

七月 年中行事(その四)―孟蘭盆 彙報金沢文庫二六

風俗（年中行事） 『図説日本文化史大系』5 平安時代（下）

（小学館）

八月 松村博司氏著『栄花物語の研究』 国語と国文学三四―八 〔史〕

八月 年中行事（その五）―月見 彙報金沢文庫二七

八・九月紫式部宮仕考（上）（下）―源氏物語発生の事情について 日本

歴史二一〇、二一一 改 歴

九月 松村博司氏著『栄花物語の研究』 平安文学研究二〇

年中行事（その六）―菊花宴 彙報金沢文庫二八

十月 大江匡房 国語と国文学三四―一〇 〔因〕

年中行事（その七）―新嘗会・五節・豊明節会 彙報金沢文庫

二九

十二月 年中行事（その八）―十二月追儺 彙報金沢文庫三〇

○昭和三十三年

一月 風俗（年中行事） 『図説日本文化史大系』4 平安時代（上）

（小学館）

二月 年中行事（その九）―正月―二月 彙報金沢文庫三一

三月 年中行事（その一〇）―曲水の宴と雛祭 彙報金沢文庫三三

四月 年中行事（その一一）―賀茂祭 彙報金沢文庫三四

五月 歴史学・社会学 国文学解釈と鑑賞二三―五

七月 栄花物語の成立順序について 日本学士院紀要一六―二 改

〔歴〕

十二月 金沢文庫本栄花物語目録 金沢文庫研究四一 〔史〕

○昭和三十四年

一月 正月の年中行事 金沢文庫研究四二

四月 藤原道長 『日本の歴史』3 平安貴族（読売新聞社）

七月 中宮定子と清少納言 国文学解釈と鑑賞二四―一〇 〔史〕

十月 源氏物語を理解するための官職 国文学解釈と鑑賞二四―一二

改 歴

賢問愚問 日本史の研究二七

十二月 平安京の大路小路（含諸門） 国文学解釈と教材の研究五一

○昭和三十五年

一月 藤原道長の旅 金沢文庫研究五二

三月 遊戯 古典の窓一―三 〔因〕

五月 後宮における諸行事 国文学解釈と教材の研究五一―七

七月 平田俊春氏著『日本古典の成立の研究』 日本上古史研究四―

七

十月 歴史物語の成立―源氏物語より栄花物語の成立まで 国史学七

四 〔歴〕

十一月 松村博司氏著『栄花物語の研究 続編』 平安文学研究二五 〔史〕

○昭和三十六年

二月 栄花物語の時代背景 『栄花物語』（古典日本文学全集9、筑摩

書店） 〔史〕

四月 藤原道長をめぐる人々―その生涯を中心にめぐる人々との関係

をみる 『日本人物史大系』1（朝倉書店） 〔歴〕

五月 後二条師通記 日本史の研究三三

六月 平安時代の信仰と生活 歴史教育九―六

十月 平安朝文学に現われた夏の季節感 歴史散歩四

十一月 年中行事の成立と発展 風俗一―二・三

十二月 日本の年中行事と嵯峨天皇 歴史地理九〇―二 改 因

#### ○昭和三十七年

二月 「栄花物語」 毎日新聞二月十五日

三月 清少納言とその時代 人物叢書月報八六

四月 宇治の里（山荘の生活）―くらしの歴史（三二） 古典日本文学全集付録三一

五月 金沢八景・能見堂 歴史散歩八

六月 栄花物語・大鏡に現われた安和の変 日本歴史一六八 因

八月 「歴史物語成立序説」（東大出版会）

序説（源氏物語の意義および研究史）、他の史料との対照表（第三章第二節三）、栄花物語の内容とその性格（第四章）

九月 「平安時代の女流作家」（日本歴史新書、至文堂）

十月 平安時代の食生活 飼料一―一〇

十一月 川端康成の文学と鎌倉 歴史散歩一

十二月 今井源衛著『源氏物語の研究』 日本歴史一七五

#### ○昭和三十八年

一月 平安時代の食生活・餅について 飼料二―一

二月 金沢文庫と歴史物語の研究 金沢文庫研究八七 史

五月 後宮の制度とその変遷 国文学解釈と教材の研究八一六

平安時代の食生活・粥と節日との関係 飼料二―五

十月 史実と物語 『国語国文学資料図解大事典』下（全国教育図書）

上坂信男・須田哲夫氏と共著

歴史物語 同右（単著）

栄花物語月宴巻について 国語と国文学四〇―一〇 『歴史物語』（日本文学研究資料叢書、改 史）

語」（日本文学研究資料叢書、改 史）

十一月 菌固・餅鏡・載餅 風俗三一―二

十二月 歴史と文学―中古時代 文学・語学三〇

#### ○昭和三十九年

三月 桜井徳太郎氏著『講集団成立過程の研究』 史潮八六

六月 藤原道長とその時代 歴史教育二二―六 因

七月 歴史物語（栄花物語） 日本歴史一九四

年中行事（図録編）・公家の年中行事（参考編） 『資料国文図録』（全国教育図書）

十一月 『栄花物語』上（日本古典文学大系75、岩波書店）（主として頭

注・補注・勤物・系図を担当）

#### ○昭和四十年

一―五月 近代文学と三浦半島（上）（下） 歴史散歩一九―二一

二月 紫式部伝記考―香子説再検討 日本歴史二〇―一 『源氏物語』

2（日本文学研究資料叢書）、 史

五月 藤原道長・頼通父子 『平安王朝 その実力者たち』（人物往来社）

御堂関白記考 東書高校通信国語三二

六月 敦康親王考 『撰関時代史の研究』（吉川弘文館） 改 因

枕草子の史実と時代背景 国文学解釈と教材の研究一〇―九

七月

八月 日本紀略と年中行事 新訂増補国史大系月報二七 固

十月 『栄花物語』下(日本古典文学大系)の、岩波書店(主として頭

注・補注・勘物・系図を担当)

十一月 平安時代女房(女流作家)のよび名 東書高校通信国語三七

註 この目録は、倉本一宏編「山中裕先生著作目録」(関東学院大学文学部紀要五八)をもとに、日本古代史研究文献目録データベース(小口雅史編・MS-DOS版)によってその誤脱を訂正追補し、データベースから抄出する形で作成したものである。後に論文集に収録されたものは、以下の略号を付して示した。改は、改題ないし改稿のあることを示している。

歴Ⅱ 『歴史物語成立序説』

史Ⅱ 『平安朝文字の史的研究』

人Ⅱ 『平安人物志』

固Ⅱ 『平安時代の古記録と貴族文化』

なお辞典項目などについては割愛してある。